



医療従事者のための 災害マネージメント



事業概要

内閣府が令和2年に公表した日本海溝・千島海溝を震源とする巨大地震想定によると、青森県は死者5万人を超える甚大な被害を受ける可能性があるとされており、災害医療の重要性が改めて認識されてきています。弘前大学では、現職の病院職員の方を対象にした履修証明プログラム「災害支援医療従事者養成講座」を令和5年度より設置し、現在受講生を募集しています。

募集案内

対象者 全国の医療機関、原子力関連機関に御所属の方
職種・年齢は問いません。

開講期間 令和8年6月～令和8年12月(予定)

受講料 30,000円

修了要件 以下に示す3科目の修了

募集人員 約30名(応募状況により調整させていただく場合がございます)

募集情報 4月30日(木)までに弘前大学HPより申し込みをお願いします。

<https://remcp.hirosaki-u.ac.jp/ecdrem/training/>または二次元コードから弘前大学のHPをご覧ください。



以下の3科目を受講修了した方に「弘前大学履修証明プログラム修了証」と「災害支援医療従事者」称号を付与します！

授業内容

災害原理と防災

地震・津波の原理
原子力災害の原理
行政の災害対策 等
90分×15回相当
オンデマンド授業

災害医療の基礎

日本の災害医療体制
日本DMATの活動
救急・災害初期医療 等
90分×15回相当
オンライン授業

災害・被ばく医療演習

災害医療演習
被ばく医療演習 等
2日間の集中講義
対面授業

point

- オンデマンド授業はお好きな時間にお好きな場所から！
- オンライン授業は毎週水曜日(日勤後の夕方～夜時間)開講予定、お好きな場所から！
- 対面授業は集中講義のたった2日間だけ！

現職の方が受講しやすいカリキュラムになっています。
詳しくはHPをご参照ください。

医療機関の方以外にも、防災学や被ばく医療に興味がある企業の方も対象となっております。
ご不明な点は以下の問い合わせ先にご連絡ください。



弘前大学履修証明プログラム「災害支援医療従事者養成講座」実施要項

1 プログラムの趣旨・目的

弘前大学が主催する本プログラムは、全国の医療機関、原子力関連機関所属者などを対象に、今後予想される日本海溝・千島海溝を震源とする巨大地震、原子力災害を含めた各種災害発生時に医療従事者の支援が可能な人材を育成することを目的としています。

2 カリキュラムの特徴（プログラムの内容）

オンデマンド授業、オンライン授業及び対面授業により、現職者が受講しやすいカリキュラムとしています。授業内容の詳細は【別紙1】をご覧ください。

カリキュラムの構成

A 災害原理と防災

各種災害の原理や行政機関の災害対策などを学びます。

〔オンデマンド授業 基本90分×15回〕

B 災害医療の基礎

日本の災害時の医療体制や医療活動などを学びます。

〔オンライン授業 基本90分×15回〕

C 災害・被ばく医療演習

災害医療・被ばく医療に関する演習を実施します。

〔対面授業 2日間の集中講義〕

3 実施体制について

本プログラムは、弘前大学における履修証明プログラムに関する規定に基づき、以下のように実施します。

(1) 履修者の決定

提出された申請書類等を審査し、その結果を応募者へお知らせします。

(2) 修了要件

履修期間に、開講する科目を受講し、かつ各授業で合格（60点以上）と判定された場合、修了要件を満たすものとなります。

なお、原則として弘前大学シラバス（講義内容）と同様の方法で担当教員が評価します。

(3) 修了証明書の交付

修了者には弘前大学長から履修証明書を発行し、「災害支援医療従事者」の称号を付与します。

4 募集期間

本案内到着日～4月30日（木）

5 募集定員

30名程度（応募状況に応じて変更の可能性あり）

6 履修期間

令和8年6月～令和8年12月

7 履修資格

全国の医療機関、原子力関連機関にご所属の方等で災害医療に興味のある方、且つ、大学卒業程度の学力を有する方。

（職種・年齢は問いません。学歴については、職歴も考慮し判断いたしますのでお問い合わせください。）

8 申請書類について

(1) 申請書類

申請書類は【別紙2】のとおりです。弘前大学被ばく医療連携推進機構HPからダウンロードできます。（<https://remcp.hirosaki-u.ac.jp/ecdrem/training/>）

- ① 提出書類チェックシート
- ② 様式1 履修申請書
- ③ 様式2 履歴書
- ④ 様式3 職務経歴書
- ⑤ 履修資格の証明書類

（最終学歴の証明書（卒業証書の写し、卒業証明書の原本等））

(2) 提出期限

令和8年4月30日（木）17:00（必着）

(3) 提出方法

- ① 申請書類の郵送は「**簡易書留**」とし、封筒の表に『**履修証明プログラム**』
履修申請書在中』と**朱書き**してください。

【提出先】

〒036-8564

青森県弘前市本町66-1

弘前大学 被ばく医療連携推進機構

災害・被ばく医療教育センター 事務担当 宛

- ② 不備のある申請書類は受け付けません。
- ③ 虚偽の記載があった場合は、履修資格を取り消す場合があります。
- ④ 一旦受理した書類は返却いたしません

(4) 申請結果の通知

令和8年5月25日までに志願者に通知を送付します。

あわせて、履修予定者には受講料納付についての案内を送付します。

9 受講料

- (1) 受講料は、30,000円です。
- (2) 受講料の支払いに関しては履修決定後、決定者に請求書にて通知いたします。
- (3) 納付確認ができない場合には履修資格を取り消す場合があります。
- (4) 一旦納入された受講料は、原則として返還できません。

10 個人情報の取り扱いについて

申込みに際し取得した個人情報は、本学事業の目的以外に使用しません。

科目1 災害原理と防災

回	授業内容	日程・形式
1	地震・津波①	オンデマンド
2	地震・津波②	
3	風水害・土砂災害①	
4	風水害・土砂災害①	
5	土砂災害①	
6	土砂災害②	
7	火山災害①	
8	火山災害②	
9	広域・大規模火災	
10	原子力災害	
11	近年の主な災害対応	
12	災害関連情報と予報・警報	
13	被災想定・ハザードマップ	
14	行政の災害対策と危機管理	
15	警察・消防・自衛隊の災害対応	

科目2 災害医療の基礎

回	授業内容	日程
1	日本の災害医療体制	オンライン (水曜日の夕～ 夜予定) ※
2	日本 DMAT の活動	
3	災害医療の最近の動向	
4	災害時の病院体制	
5	災害時の情報	
6	救急医療情報システム (EMIS)	
7	救急・災害初期診療	
8	多数傷病者に対する医療	
9	原子力災害時の医療	
10	災害時のメンタルヘルス	
11	災害時の保健所と保健師の役割	
12	国際的な災害支援	
13	新興感染症蔓延に対する対応	
14	青森県の災害医療体制	
15	近年の災害医療支援	

※科目2についてはご参加できなかった方のために見逃し配信も行います

科目3 災害・被ばく医療演習

対面集中講義（計2日）

時間	タイトル
○月○日（○）※	
9:00 - 12:00	災害医療机上演習 （局地災害時の医療機関対応） （医療機関の受援体制構築）
13:00- 17:30	職種別災害医療実習 （医師&看護師：災害時標準診療手順） （事務職：災害時の業務調整員の役割）
○月○日（○）※	
9:00 - 12:00	被ばく医療演習 （原子力災害時の医療機関対応） （放射線測定器の使い方）
13:00- 17:30	被ばく医療実習 （汚染傷病者の検査と除染） （原子力災害時の病院本部運営）

※科目3の日程は、履修者が決定した後に日程調整をいたします。